



道徳通信

教員用

No. 23

平成29年6月6日発行
道徳教育推進委員会

第1回道徳教育推進教師 研修会報告(その2)

今回は、茨城県の「道徳プラス」(第2学年のLHRで年間10時間展開)について、報告します。具体的な授業展開の方法は、示唆に富む内容でした。

道徳プラスの概要

平成28年度から、県内全校で必修化され授業が実施されているということです。

年間10時間は、討論型5時間、協働型5時間の内訳となります。

「道徳プラス」

- ・第2学年対象
- ・道徳的判断力
- ・道徳的实践意欲と態度
- ・ペアワーク、グループワーク、ロールプレイングなど

意思伝達能力
行動力・実践力

読み物ではなく、生徒自身が活動することが求められる授業となります。

2つのタイプの特徴は以下のとおりです。

討議型

- ・道徳的判断力
- ・グループワーク
- ・グループによる意見交換から全体討議に進み、学級全体の合意形成に到達する話し合い活動

※全体討論

協働型

- ・道徳的实践意欲と態度
- ・ペア、グループワーク
- ・ロールプレイング
- ・具体的な行動場面を想定することで、その場に相応しい道徳的行動を身に付ける授業(疑似的体験)

※ロールプレイング

授業展開のフォーマットは次のとおりです。

◎討議型道徳授業

【授業展開】

1. 資料の読み聞かせ
2. 話し合い活動①
3. 話し合い活動②
4. 考えを板書し、意見を共有
5. 合意形成
6. 各自の振り返り

・4名グループ
 ・グランドルールの確認
 ・意見の相違や対立を見つけ出す
 ・課題発見

グループごとの発表を聞き、
 他グループとの意見の違い
 や一致を確認

生徒の発言をもとに、
 対話促進者主導で合意形成を図る

◎協働型道徳授業

【授業展開】

1. 資料の読み聞かせ
2. ペアインタビューと発表
3. グループワークと発表
4. ペアでのロールプレイング→代表者の発表
5. シェアリング
6. 各自の振り返り

ペアの相手の意見を発表する

グループワークからペアに
 戻ると生徒は活動的に！

ロールプレイングの演技を見て、
 良かった点を発表

※シェアリングが重要！

本校の道徳授業では、本格的な討論やロールプレイングまでは実践できていない状況があります。

実践しての課題として、①生徒主導の話し合い活動を進める上で、授業実施者に、対話促進者としての力量が問われることと②教材に関して、議論すべきポイントを生徒自身が見出せるようにする工夫が必要ということが挙げられていました。

※次号では、本校の推進校としての構想等についてお知らせします。